

ITリーダー塾に参加して自分がどうだったか。

2010/5/24

第2期生 yama

ITリーダー塾に入るきっかけ

リーダー経験はまあまあアリ。
経験の浅いメンバーを率いて、困難なプロジェクトを成功した経験が
あって、自分は実は向いてるんじゃないか？と思っていた。

その後対応したプロジェクトで、発注元～先の間で混乱が発生。

会社の中での「マネジメント役」と言う立場と、「リーダー」と言う立場の
切り分け、考え方の相違、使い分け、など、わかんなくなった。

そんな時に、「第2期リーダー塾」発見。
自分の年を考えて、いいのか?????と思いつつも、
気にしない事にして参戦！

入ってからの心境や自信の変化

自分の所属するチームは、「上司から委ねられたチーム」

ここでは半期ごとに「成果」を出さねばならない。
チームメンバーは、「成長」させなければならない。

その為に、「自分が、自分の力で、みんなを導いてあげないといけない」

そんな先入観があった。



周りのマネージャー達以上に、
「知識」を深め、チームメンバーひとりひとりの事を思いやり、
本質を追い求めて、お客、自分達、プロジェクトにかかわるみんなが、
将来にわたって幸せになれる、理想的な物を追い求める事は正しい！
絶対に誰にも反対されない！ 上司にも部下にも、お客様にも。
そう信じて疑わなかった。

リーダーとしての活動状況

その頃・・・全社活動に何故か参画。
他人事、やってるフリ、上司命令だから。
全社をあげての活動なのに、なぜそこまで気が乗らないの???

「ここの集まりは、全社に対して改善の影響を与えようとしてるんですよね？」

→その通り

「ここでの活動は経営層も応援しているんですよね？」

→もちろん！

「じゃあ、ここで検討して方向を決めていくんですよね？」

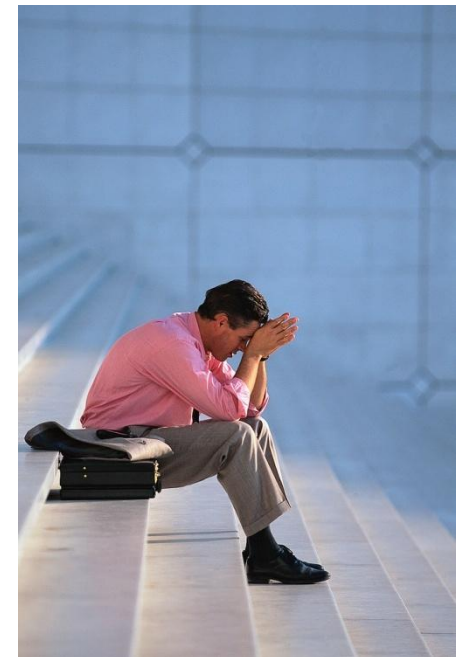
→ノー。専門チームで作って来たもののレビューに参加すればいいよ。

「ん？方向は決められないの？」

→専門の人たちに任せようよ

「それでイイの??？」

→無言・・・(時間切れで変わらず。)



リーダーとしての活動状況

その頃の自分のプロジェクト

Aプロジェクト:それまでに出来上がったチームメンバーが、自主的遂行。多少の問題は勝手に乗り越え。

Bプロジェクト:豪勢な体制確保と体制、指示体系構築。プロジェクトの目的、ゴール、方針などを意識合わせ実施。

進捗管理と時折の個別ヒアリング対策へ(・・過去の成功経験より)

対応ウェイトを高め、指導・育成をするも、
「そうですね、わかりました！」とは言うものの・・・変化無し



気づき

何でみんなそんなに他人事なの？
やろうとしないのはどうして？

頑張っていないのか？

……出来ること、わかることは頑張る様だ。

じゃあ、どうすれば良い？

「やってみせ、言ってみせ、させてみて、
誉めてやらねば人は動かじ」

山本五十六



本当か？

一人でやる必要ないんじゃない？
助けてって言えば？

塾での気づき。
一人じゃない。
みんな(上下) でやろう！

途中で言われたショックな出来事

「僕は、あなたのやろうとしている事は違うと思う」
そう言われた。

「社員100人居て、あなたの言う事を理解して、できる人は
10人居ない。他の90人はどうする気だ？」

考え方

①10人で出来ることをやる。

②最初は10人でも、その10人が次の10人を巻き込めば……



問題はそういうことか？



半期などの短期に結果を
求められる場合、困難

現在

短期ではなく、中長期を狙います！宣言。

上層部の巻き込み。

雰囲気作りなど、地道な活動。

中長期優先

やり易くする

「教える」から、「気づいてもらう」へ

将来へ

経験を残し、伝えたい。

が。。。。

自分で経験していない事は、どれだけ「経験」として
活きるのだろう。

→地道に、熱意を持って伝えるしかないのか。。。。



今後も悩み続けます。

いろんな気づきをくれた、

会社のみんな、業界のみんな

ITリーダー塾の皆様、
上田塾長

感謝致します。

ありがとうございました。

